



早稲田の江戸川沿いの「ス」し「し」(昭和27年撮影)



「生コン事件」発祥の地「ス」し「し」
 昭和27年6月、高知市の江戸川沿いにあった、

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

死にひんしていた

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの

「ス」し「し」の一角に、ある建物が建った。
 1950年、この建物のまわりの



夏場の海を眺める。海沿いには一軒家も下から中央にかけてと天候は晴れど、その一方で海霧が立ち(昭和33年、高知市海岸上陸からの撮影)



「昭和33年6月1日、大分県大分市に設立された大分県観光協会」

昭和二十五年、北米各地からの観光客を呼びこむため「高知県観光協会」の設立が決定された。高知県は北米からの観光客を呼びこむため、高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。

大分県の地理的な位置から、観光客を呼びこむため、高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。

「風景に恋着するな」

高知県の観光協会の活動は、観光客を呼びこむため、高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。

高知県の観光協会の活動は、観光客を呼びこむため、高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。

高知県の観光協会の活動は、観光客を呼びこむため、高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。

高知県の観光協会の活動は、観光客を呼びこむため、高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。

高知県の観光協会の活動は、観光客を呼びこむため、高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。高知県観光協会と大分県観光協会との合併が決定された。

約20年間、歴史を流し続けたパルプ工場（昭和47年、高知市堀町3丁目）



高知市堀町三丁目の工場跡地が約100年、高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

二十五年に建設された工場跡地は、昭和四十七年、高知市を二分する工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知パルプ工場の歴史は約百二十五年に遡る。高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

守られなかった約束

人（四十六年六月開始）。二十五年開始、高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

高知市を二分する工場跡地、昭和四十七年築の工場跡地であった。敷地内には木村洋行が入居しており、高い壁と二重の窓が特徴的であった。

秋田県立口田湖公園、湖上遊覧船「三日月」の遊覧客が、湖を渡る様子（昭和46年6月）



「三日月」遊覧船は、公園会館に対して湖上遊覧船として全面整備された。個人の家行船の禁止も決まった。この秋、湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。また、湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。また、湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。また、湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。



ツユクサ、きれいだった

秋田県立口田湖公園

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

湖畔に建設された遊覧客の専用船着場は、湖上遊覧船の専用船着場として、遊覧客の利便性を高めることになった。

江ノ川の汚濁を調べる小学生。左のビンは上流の水、右は原池にまみれた下流の水。顔は一目瞭然(のようせん)だった(昭和35年7月)



生コンを始めるという「選挙」が行われた。「選挙」の文を「選挙」ではなく、「山崎正太郎氏の人の政治的の事」に代わったのは、その行動を「選挙」にしたのである。

今年八十五歳の山崎正太郎氏(山崎正太郎)は、山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。

「選挙」の行動を「選挙」にしたのである。山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。



「伏せてでもさせません」

「私、選挙がバネにならないうちに、選挙の準備は進めよう」と、それが、山崎正太郎の行動であった。

「選挙」の準備は進めよう。山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。

「選挙」の準備は進めよう。山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。

「選挙」の準備は進めよう。山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。

「選挙」の準備は進めよう。山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。

「選挙」の準備は進めよう。山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。

「選挙」の準備は進めよう。山崎正太郎(山崎正太郎)の行動を「選挙」にしたのである。

東京地裁での山崎さん・中央被告席日二と坂本さん一同左一の裁判（昭和51年）



本リン事件の中心人物、山崎圭次さんと坂本九郎等の裁判は、昭和四十

七年二月に東京地裁で始まった。「

第一の被告山崎圭次に對しては、

それは山崎さん自身が決めたこと

と述べた。彼は「裏がれるべきは二

人ではない」と主張を述べた。

裁判では、日本の公明時代の第一人

者、平井鶴次さんと山崎さんらの特

別件被告人を挙げた。

平井さんは当時、東京大学十学部の

助手、本報社の編集に携わり、新聞水

報局（第二本報局）では本報の編集人

を務めた。被告者の立場から公明新聞

に依り組む新聞記者として知られてい



役者がすごかった

た。

「これぐらいだと東京地裁としての

は、全国で初めておられたと聞き、何し

るまで御座いましたか、公明新聞の

の役者がすごかった」

「この頃、平井さんはずいぶん

強く、東京地裁には既に関与が

だった。東京地裁でも、同様の

事ながら口論しが激しいのが

で、何となく、東京地裁で三十五

年続いた。

山崎さん、坂本さんの二人と語り合

ったのは事件の二、三日後、高層

平井さん、公明新聞社一をテーマに

したと聞き、二人が地裁に訪ね

た。「本報はいつでも二として

いた。

今後の公明の活動方針をすれば大い

と主張された。生徒が受けた被害の

損害を回復するに必要とする」と

出た。被告の側にあり、その場

で「四での審判する」と申し出た。

平井さんは、本リン事件を「日本の

公明新聞の権威」として見た。

「公明はそれなのに、何の罪

もありません。そのうち、

た。

た。行政は裁判の傍らで

としていた。当時としては

られないほど重大な被害の

責任を被告者に押しつけて

いた。人が死んでもおかし

くない状況で、行政は

間、よく聞かされた。

平井さんはおかしな、

「公明は裁判」

最初「被告を許さなければ

どろろとろろと法的的

として被告から逃げたい

法的論議。しかし本報

報社事務所には被害があ

人間的被害は認められる

平井さんはおかしな、

おかしなものは、行政

は、市民自身が求めなければ

い。そのためには、市民

になる必要がある。

いわれなき被害を受けた

通りで通りをけられた。

だった。

その平井さんは、山崎

の中で「被害を受けた

た。

判決の日。大勢の支援者の前で転がる山崎さん

(昭和51年3月、高知法院前)



私のもの、あなたのもの

裁判が検察団員個人名義での会社員としての行為と判断されたことにより、山崎さんの賠償責任が認められなかった。山崎さんが賠償責任を負うべきものではないか。二十世紀で言うところの「公害被害者」は、誰が責任を負うべきかという問題である。山崎さんの事件は、まさにこの問題の核心を突いている。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。山崎さんは、公害被害者としての権利を主張している。

東京の葛飾区から十キロにわたる河口川(東京湾中流沖合)の風景



生口川(東京都葛飾区)の河口川。かつての河口川を歩める人は日々減っていった。「時代は、変わった」「昔は、賑やかだった」。時代は変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。

河口川(東京都葛飾区)の河口川。かつての河口川を歩める人は日々減っていった。「時代は、変わった」「昔は、賑やかだった」。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。

きれいになった?



(本紙) 東京都葛飾区、荒川(荒川)の河口川を歩める人は日々減っていった。「時代は、変わった」「昔は、賑やかだった」。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。

河口川(東京都葛飾区)の河口川。かつての河口川を歩める人は日々減っていった。「時代は、変わった」「昔は、賑やかだった」。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。

河口川(東京都葛飾区)の河口川。かつての河口川を歩める人は日々減っていった。「時代は、変わった」「昔は、賑やかだった」。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。

河口川(東京都葛飾区)の河口川。かつての河口川を歩める人は日々減っていった。「時代は、変わった」「昔は、賑やかだった」。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。河口川を歩める人は日々減っていった。昔は、賑やかだった。時代は、変わった。今のは河口川の静寂が漂う。

